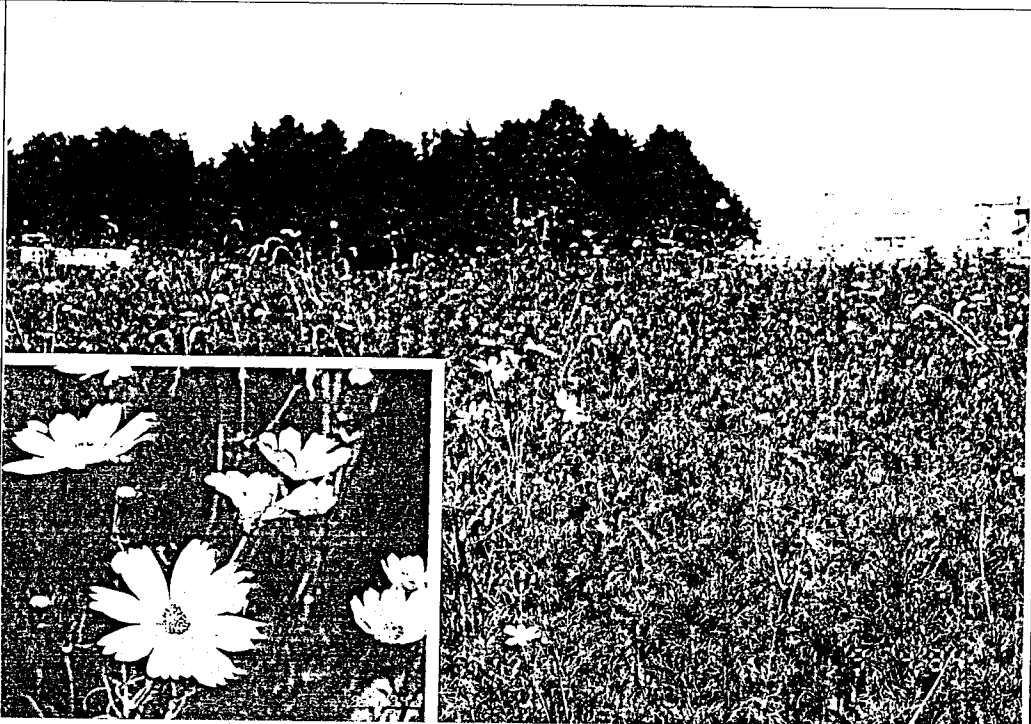


コスモス

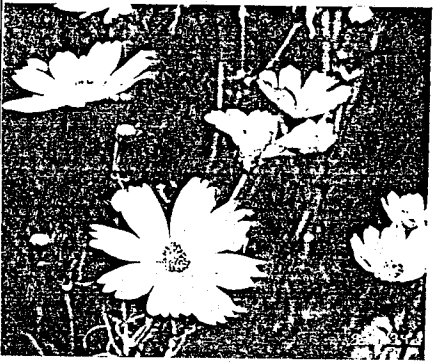
「水保コスモス花園の誕生から今日まで」
水保自治会長 小山豊博

愛する野洲川の堤防でジョギングを始め数年。春夏秋冬の自然の恵みを受けた野洲川。また、自然の恐ろしさも教えてくれた野洲川。この野洲川の堤防を毎朝歩きながら目についたもの、また、大變憤慨をもし腹立たしく感じるのは、毎日、無い日がないというほど違ったゴミが投棄されている現状であります。



街の中では緑と花いっぱい運動が、各地で展開されている今日。ふっと思いついたことが、「野洲川廃川の奥有地(空地)を有効利用させていた、ここに花を植え、育て、花の美しさによりゴミを捨てる人たちのモラルを取り戻そう。そして愛する野洲川にお礼をしよう。」であり、そこで始めたのが「コスモス」の花園作りです。

昨年は、自治会の協議員をはじめ各種団体のご理解とご支援により、大変な成功を収め、それなり



■種類
キク科一ねん草。代表的な品種センセイションは早生大輪で花は8センチほど。花色は白、濃紅、桃、蛇の目(桃色に濃紅)の四色に成果がありました。

そこで、今年も引き続きこの事業を継続することに決定し、その上、さらに規模を広げることとなり、なお一層の花園作りを力を入れることとなったのです。

現在、浜街道より上で平地化の事業に従事している奥の骨材協会からの申し出と協力により、トラック七十数台分の肥沃土の搬入と整地をしていただきました。

また、農協の厚意により、トラック四台分の摺り糖堆肥が運び込まれた。

なお、湖南衛生プラントの協力とトラック三台分の汚泥焼却灰を

■植物名の由来
ギリシャ語で「飾り、美麗」を意味し、その花の美しさにちなむ名である。

別名は、秋桜、大春車菊(おおはるしゃぎく)などの名もある。

花ごとば「乙女の真心」
特徴

メキシコ原産で、日本へは1670年頃(明治のはじめ)渡来し比較的新しい草花である。強健な花で、一度作ると毎年こぼれ種で芽を出し群生開花する。

日が短くなると花芽のできる短日植物であったが、最近では日の長さに関係なく咲く新輸入品種も多い。子供たちは、中心に小枝をさし、ふわりと落下するパラシュートにしたり、花びらを四枚残し投げあげて回りながら降りくる風ぐるまにしたりして遊ぶ。

「コスモスの花あそびする童かな」

があり、草丈は1〜2メートル。春まきすれば初夏に、夏まきすれば秋に、播種後三ヶ月で開花する。長期間にも開花するペルサイユは、10〜12センチの花をつけ桃色に濃紅の蛇の目が美しく花形もよい。切花用に適しハウスマスなど栽培される。

絞り咲きのアカツキや、花卉の付け根に複弁をもつ中生八重咲きのコラレットもある。黄色い花が咲くキバナコスモスは、近ごろ輸入された新種である。

「コスモスや雲忘れたる空の碧」

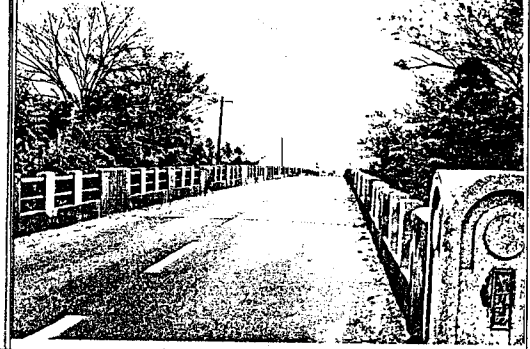
いただき、それぞれ投入後、トラックを使ってよく攪拌し地ならしの上、播種しました。

今年はずばらしい種を購入し、期待の上なく、一週間後には百パーセントの発芽をし、青い絨毯を敷き詰める予定でありました。

専門家の話によれば、「間引きをする必要があるのでは」との注意を受けるほどであった。

しかし、その後の例年に無い猛暑と、その上極端に少ない降雨量により、だんだんと枯死寸前という事態に追い込まれていきました。

大変広範囲の人たちの注目を浴びるなか、「ここで枯らしてはい



「みずほ」という名は古事記、日本書記に出てくるみずほに名を合わせたか、野洲川北流の水害を中世になって、保護する事を念じて付けられたか定かでない。

徳川期、つい最近まであった「列系図橋」東側に、当時の庄屋が何度付けても大水のために切られる堤防を神崇りし、その神のために人柱を立てたと言われる祠があった。当時、朽ち果てた橋であったことから、近世になってから水害で橋の被害がなくなり、人柱であった娘さんが護ってくれていたであろう。

里人は、字名からも水を護って自らの耕地を肥してきたのである。

けない」と約二十日間にわたり義勇消防団員と協議員との協力、夜の九時から十二時頃まで、必死の散水を、「どうか枯れずに丈夫に育てて花を咲かせてくれ」と祈る気持ちで続けてきました。

しかしながら、無情にも、その間涙雨が二度ほどこぼれた程度で現在に至っています。

誠に残念であり、今ほど大自然の偉大さや、脅威をこれほど強く感じたことはありません。

12月		11月		10月	
3	3	3	3	3	3
8	8	4	4	4	4
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3
8	8	3	3	3	3

水保の歴史

「みずほ」という名は古事記、日本書記に出てくるみずほに名を合わせたか、野洲川北流の水害を中世になって、保護する事を念じて付けられたか定かでない。

こんな活動をしています。

【管農部会】

過去二年間にわたり、水保町の二十一世紀の農業を目指して取り組んでいるところです。

いよいよ「水保管農組合」設立を進めていきたく、当部会で検討に検討を重ねてまいり、去る八月十二日の自治会総会において、集落管農ビジョン管農部会案を説明し、かつ、審議いただき、皆様の承認をいただきました。

そこで、十月末日頃に「ライスメイト水保管農組合」設立総会の開催をもって発足する予定で進めております。

皆様方にはいろいろとご都合がおありのことと思いますが、どうかこれからの水保の農業についてご認識とご理解をいただき、ご協力をいただきますようお願い致します。

【環境整備部会】

昨年までの二年間、農業集落排水事業（略称、農村下水）について検討を進めてまいり、去る今年四月に総会をもって、組合設立とその組織と規約等について皆様の承認をいただき発足したことに就いては既に告知のとおりであります。今後の、工事着工に向けての皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の活動目標の検討課題といたしましたは、
一、本年度上期は先のアンケート調査結果による、ゴミ置場（特に、現在ゴミ集積場のない地区についてどうするか）の問題や、各種案内表示板の整備など町民の要望事項について検討立案してまいります。
二、下期は昨年度に引き続き、集落内の整備等について検討してまいります。

進めてまいります。

【研修部会】

研修部の活動方針と致しましては、「研修の充実で心豊かな明るい水保を築こう」を合言葉として、「みんなで参画、価値ある学習で心豊かな人づくり」を常に意識しながら、研修部員として「高い志」を持ちながら、仲よく楽しく進めていきたくと考えています。

なお、活動の柱は、
一、一般研修
二、青少年健全育成
三、社会同和研修
の三つを課題として、今年度後半に別途計画票に沿って研修会や懇談会を進めていきたくと存じますので、皆様方の深いご理解とご協力をお願い致します。

【文化部】

文化部では、過去二年間にわたり町内全体の各行事の内容検討を行ったことから、本年度は行事以外の文化面を検討していく予定であります。

先般開催した部会では、「各種グループの育成や、水保の歴史史実などを研究、検討しては」との意見があり、今後の検討項目としております。

したがって、このテーマの今後の参考をしたいと思いますので、水保町内の有志で趣味やスポーツ等の同好会・グループや講座、教室などを行っておられる方、また機会があれば始めたいと思っておられる方は、その情報を近くの文化部員へお知らせいただきたくご協力をお願い致します。

また、水保の歴史に関する資料や伝え聞いている事項など、何でも結構ですのでこうした情報についても文化部員までお寄せいただくようお願い致します。

【婦人消防隊】

水保婦人消防隊を発足して三年目、義勇消防隊の方々に懇切なご指導とご支援をいただきながら、毎月第一日曜日の朝八時から仲よく、また厳しく消火訓練などの活動をしております。

台所などで火を取り扱う機会が一番多い私たち主婦が、防火意識の向上に婦人消防隊として活動させていただくことはとても意義のあることだと思っております。



【各種婦人会】

去る七月十六日の朝から今年度最初の花植え、「街角花いっぱい運動」をテーマに自治会の役員皆さんとも作業を行いました。

今年度は苗が小さく、毎日の暑さと雨不足で枯れてしまうのではと心配しながらの作業でしたが、それぞれの街角のフラワーポット置場周辺の皆様の水やりのご協力などにより何とか可愛い花びらを見る事ができました。

当日、その作業のあと「コスモス花園」の草取り作業を行いました。今年度は昨年の倍以上の面積に植えられたのに、この雨不足でも心配でした。

また、大変残念です。さて、各種婦人会では、資源ゴミ回収について回収日のお知らせと、回収ゴミの正しい区分けについて随時お願いしております。

サークル紹介

多岐野

◎詩吟

詩吟を一緒にやりませんか！詩吟を習うことにより日本の歴史がよく分かるうえ漢詩の勉強が出来、また声を出すことにより肺活力が強くなり風邪をひかなくなりました。

同じ趣味をもつ同志の交わりができて、とても楽しいです。

月二・三回のおけいこによって、限り無く心身の修養と健康を与えてくれます。

水保町にも二つの教室が出来ております。

◇◇夜の教室は 八時〜十時まで
昼の教室は 二時〜四時まで
(集落センターにて)

講師 日本吟道岳龍会担当師範 浅井岳洲先生

是非一度聞きに来てください。はおまちしております。

※連絡先 今井寿栄能迄
☎八五一五八二

◎バレーボール

バレーボール同好会は、若手から熟年ママさんまで十数名の部員が活動しています。

同好会の歴史は古く、発足当時速野小学校の講堂で練習していた頃が懐かしく思われます。

当時は、夜十二時近くまで練習に熱中したり、また、京都のママさんバレーチームを招いて練習試合を行い、二十一対ゼロという無残なスコアで大敗したこともあり、ここ数年、水保にも新しいママさん部員が加入し、速野学区の

大会で優勝したり、守山市のスポーツカーニバルで善戦するなど着実に力をつけ成果をあげています。我もと思われ方は是非参加してください。（練習日 毎週金曜日・夜8時 明富中学校体育館）



【編集後記】

昨年度から水保の入口（旧野洲川堤防）に「コスモスの花園」が誕生しました。

これにちなんだ名前で同じく昨年、水保町内機関紙として題名を「コスモス」として発行されました。

この「コスモス」を絶やすことなく今年も発行しようということ、集落管農ビジョンの組織の中に我々の広報部が生まれたのであります。今年度は新たな広報部員（編集部員）で、慣れない文章作り、新聞作りに戸惑いながらも一生懸命に頑張りたいと考えています。

なお、発行計画としましては、不定期ではありますが年間三回の発行を計画しております。今後とも皆様からいろいろと原稿を頂戴致したく考えておりますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。（広報部）